

特許第1委員会

徹底 Web解説!
2/2(水) 11:15~12:45
【参加はこちらから】
<https://forms.office.com/r/fpHErY77jae>



私達は、日本特許の出願から権利化までを主な調査研究対象として活動しています。調査研究の成果を知財管理誌等で発表し、特許庁、アカデミア、弁理士会の方々との意見交換等により、よりよい特許制度の実現を目指しています。

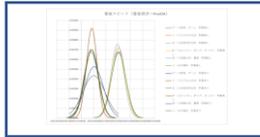
第1小委員会

1. 審査引例、異議申立・無効審判で使用された中国文献に関する分析



2. 早期審査制度のビジネス上での利用価値に関する研究

- ◆特許庁発行の「分野別対応IPC表」を活用
- ◆早期審査による審査スピード（審査請求～First OA）を35種の分野別に解析
- ◆利用率、権利活用の視点も入れ、早期審査制度の利用価値について考察



審査スピード解析例 (早期 vs 通常)

第2小委員会

$E=mc^2$ 異議申立で記載要件違反を問われたパラメーター発明

一体何が足りなかったのか？
強いパラメータ特許を取得するためには。

明確性

実施可能要件

サポート



AI関連発明の拒絶を克服するには？

審査事例をもとに、記載要件違反のポイントと、出願人の対応方法を分析

💡 拒絶されうる場合を類型し、考察

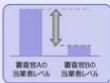
第3小委員会

審査の質・進歩性

1G

日本の特許審査は「均質」なのか？

特許法50条の2からみた
審査における判断の均質性の検証



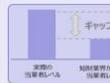
・審査官によって技術レベルの差に、ばらつきがあるから？

“判断の均質性”を評価する方法として、
50条の2の通知を受けた分割出願に着目した研究テーマ

2G

日本の特許審査は「甘い」のか？

情報提供制度の活用検討



・知財業界(審査官)が想定している「当業者」は、実際の当業者とギャップがある！？

業界の肌感覚を審査に反映させる方法として、
情報提供に着目した研究テーマ

第4小委員会

トレンドを踏まえた特許に関する研究

ベンチャー共創

大企業とベンチャーとの協業のフェーズとクリアランスのあり方とは？

SDGs

SDGs実現に求められる特許制度とは？